



月刊「にじのはし」56号
(令和4年2月号)

年末にかけて落ち着いていた感染状況が、1月半ばより急拡大し、学級閉鎖のお知らせや、本人は元気だが利用できるのか、などのお問合せが増えており、ご家族の不安を肌で感じています。

過去2年を通じて、職員や利用者の感染報告はありませんが、収束を祈りつつ、引き続き日々の感染対策を徹底してまいります。

さて、1月は、書き初めや福笑い、凧づくりなどのお正月らしい活動の他、公園あそびも楽しみました。こんな時期だからこそ、楽しく会話したり、何かに熱中したり、身体を動かすことで、心がほぐれるように感じました。お子さまの笑顔に職員も助けられています。

また、手先の発達と感覚についての研修に参加し、手先の発達においても体幹の大切さを学びました。手を使うのが苦手な子には、遊びに手押し車や手押し相撲を取り入れつつ、工作などで手先を使う機会を意識したいと考えています。

さて、今号では1月の活動の様子を振り返ります。どうぞお楽しみください。



1月のお誕生日会



1月26日(水)に、1月生まれの子のお誕生日会を開催しました。チョコケーキなどの誕生日のおやつでお祝いした後は、恒例の「なにがでるかな」で、主役の子が色々な質問に答えました。好きな色の話では、「この色の服が多いやろ」と説明したり、行きたい場所の質問に、「わたしも行ったことあるよ」と言う子もいて、会話がはずみました。

また、サイコロがゴールマークでびたりと止まると、「プロや!」という声がかかり、和気あいあいと会が進みました。最後の「ピンポンカップイン」では、点数ラベルを付けた紙コップを階段状に並べ、ピンポン玉を投げ入れて合計点を競いました。体格や力の差に関係なくみんなで楽しく盛り上がることができました。会が終



わってから、主役の子のフォトブックを見ながら、「この時あんなことがあったね」など思い出を振り返りました。お休みの子が重なり、こじんまりとした会でしたが、みんなでリラックスして楽しむことができました。





れいんぼー

1月の活動プログラムより

1月の**工作プログラム**では、ぐにゃぐにゃ風を作りました。本体に自由に絵を描き、しっぽを付けるだけで、軽くてよくあがる風が出来上がりました。しっぽに好きな歌の歌詞を絵にして描く子もいて、個性豊かな作品になりました。

料理プログラムは、人気メニューの春巻きの皮ピザを作りました。コーンやマヨネーズをたっぷりのせて焼き、熱々をおいしそうに頂きました。

英語プログラムは、「だるまさんがころんだ」の英語版、Walk, walk, stopに挑戦しました。知っている遊びだと英語でもすんなり身体が動き、みんな真剣な表情で頑張りました。

音楽プログラムは、明るい音・暗い音のそれぞれの音階や和音を聞き、違いを体験しました。また、全員が両方の音階を弾いてみました。

ドラムレッスンは、パラディドルや8ビートなど、カッコいい演奏に活かせるリズムや演奏のコツを学びました。

運動プログラム・ゲーム大会では、冬休みの公園あそびや音を立てずに歩くにんじゃ競争、体幹を鍛える足ボール渡し、身体とゴム紐の距離を測って進むくもの巣くぐりなどに加え、手先の感覚を養う福笑いや、目の動きと敏捷性を養う光ってタッチ、もぐらたたきなどを楽しみました。

また、3学期から、終わりの会の流れを見直し、車内での座席位置や乗車の順番がわかりやすくなるよう工夫しました。これからも新しい取り組みを継続し、よりよい活動ができるように努めてまいります。

